

平成30年度 地域力再生プロジェクト支援事業交付金決定状況一覧(第1回分)

番号	事業名	団体名	事業実施地域	事業概要	事業費 (単位:円)	交付決定額 (単位:円)
1	葵祭における大神輿復活及び葵祭を通じた地域の活性化事業	元伊勢籠神社神輿復活実行委員会	宮津市	毎年開催される葵祭には府中地区の大人から子どもまで参加しているが、国分地区の大神輿は60年前から出ておらず、大人の役員数名が代役で参加している状況である。来年の神社創建1300年を契機に大神輿を復活させ、子どもから大人まで参加できる仕組みを構築し、伝統行事の再興や地域活性化につなげる。	3,623,600	1,000,000
2	防災体制づくり	由良協自治会	宮津市	高齢化等により組織化されている自衛消防隊が活動せず、地域における防災体制が整えられていない。また、地域住民の災害に対する備えや避難場所の周知ができていない。防災訓練を実施し、自衛消防隊を復活させ防災意識の向上を目指す。避難場所である神社を住民の手で整備し、コミュニティ構築や環境美化を図る。	1,520,368	506,000
3	宮津祭と宮津城下～宮津藩祭 山王祭『宮津祭』原点から未来を描く～	山王宮神輿組	宮津市	江戸時代から続く山王祭での神輿の担ぎ手が人口減少の影響で難しい。担い手の掘り起こしとともに、祭りに関わることで世代間交流を行い、地域コミュニティの活性化の一助とする。歴史を学び魅力を発信することで、地域活性化を目指す。	2,100,000	700,000
4	初心者やスポーツが苦手な人も楽しく参加できるスポーツクラブ(総合型スポーツクラブ)	特定非営利活動法人 Sports Club RAINBOW	宮津市	少子高齢化社会や地域コミュニティの弱まりなどで人間関係の希薄化、子ども達のスポーツ離れが目立つ。様々なメニューでの取り組みを行うことで、コミュニティ形成や誰もがいつまでもスポーツできる環境作りを目指す。 【昨年度確定額 500千円】	1,624,672	400,000
5	地域みんなで子育て中のお母さんを支援しよう	ゆるりら	京丹後市	ひとり親家庭の増加や地域とのつながりの希薄化により、子育て中の悩みを相談できず孤立したり、子どもの状況の多様化により子育てに行き詰まる親が増加している。子育て中の親同士がつながり、交流・語り合いの場をつくることで、子育て支援ができる地域づくりを推進する。	393,000	231,000
6	荒山未来塾-ありやま-「将来的展望推進事業」	荒山未来塾	京丹後市	立地条件から子育て世帯の入居が多いが、地元で暮らす人との交流の機会が少なく、地域としての一体感が希薄になっている。山陰近畿自動車道インターの整備をきっかけに更に人口の増加が予想されるため、未来を担う子ども達から高齢者まですべての住民が地域に愛着を持って日々暮らしていく意識の醸成を図るため、地域の景観美化及び歩道清掃を行う。	299,990	198,000
7	地域で育む輪を作ろう	佐野自治会 福祉部	京丹後市	人口減少や少子高齢化が進行し、子育て世代の点在や交流が少なく、つながりが希薄になっている。子育て世代や親子だけでなく世代を超えた交流を通じ、支え合い地域全体で子どもを育む地域づくりを行う。	446,000	138,000
8	丹後の地酒と興業種連携活性化プラン	丹後酒梁	京丹後市	丹後地域で最も多い酒蔵がある京丹後市では、8軒あった造り酒屋が5軒に減り、地酒PRに力を入れたい機会がない。また、米農家と酒蔵の繋がりが希薄になり、それぞれが少子高齢化や減反政策により後継者問題を抱えている。イベント開催や6次産業化を図り、米農家と酒蔵、地域をつなげることで地産地消、地域PRのきっかけをつくる。	949,424	313,000
9	廃棄農産物からの特産品開発やwebを利用した情報発信	特定非営利活動法人 GREEN PLAN	京丹後市	丹後地域では農家の高齢化、担い手不足や人口減による農産物の地産地消ができておらず、流通販路に乗らない農産物が多くある。消費しきれない農産物を有効活用するため、地元の農業者から買い取り特産品づくりと京都市内やwebなどを活用した流通マーケティングを行う。また、活動を通してつながった団体との交流を行い、コミュニティ拡大を目指す。	2,465,140	821,000
10	峰山おどり伝習事業	峰山伝統芸能振興会	京丹後市	江戸時代に始まった「峰山おどり」は少子高齢化に伴い踊り手も減り、知らない住民も増えてきている。峰山おどりの伝承活動のため、勉強会や講演会、盆踊りだけでなくお囃子・踊りの練習を定期的に開催し、次世代への継承活動と世代間交流を行う。	614,260	204,000
11	食・歴史文化・イベントを活用した地域活力増強プロジェクト	久美浜まるごと実践会議	京丹後市	少子高齢化に伴う過疎化、後継者不足等の社会的環境変化による、地域の主たる産業の活力の低下や未活用資源等の増加している。食を活用した都市農村交流の推進、イベントを活用したビジネスモデルの開発などで地域活力向上を図る。 【昨年度確定額 253千円】	1,188,100	396,000
12	地域特産品の開発や地元、都市住民との交流	野間ふるさとキッチン	京丹後市	野間地域は過疎高齢化が進行し、地区全体の交流が減少し、活性化が希薄になっており、農業以外の産業がない。地元の山菜や農産物などを活用し、加工品づくりを行い、地域活性化や仕事探しを目指す。また高齢者が交流できる場づくりや都市の住民との交流を図る。 【昨年度確定額 100千円】	303,000	101,000

平成30年度 地域力再生プロジェクト支援事業交付金決定状況一覧(第1回分)

番号	事業名	団体名	事業実施地域	事業概要	事業費 (単位:円)	交付決定額 (単位:円)
13	移住促進事業	野間に移住を促進する会	京丹後市	人口減少と高齢化が急速に進行し、地域コミュニティの維持が困難になっている。都市部や近隣地域からの移住を促進し、人的資源の確保を目指すため交流人口を増やす。 【昨年度確定額 150千円】	304,000	100,000
14	味土野の資源を活用した都市住民との交流	味土野区	京丹後市	味土野区は過疎・高齢化が進行している。地元のにぎわいづくりと人口の増加を図るため、山菜取りや星空観察等により参加者との交流を行う。 【昨年度確定額 100千円】	301,220	100,000
15	久美浜湾とかぶと山周辺の観光資源(水とみどり)を活かした地域力プロジェクト!	かぶと山ふるさと会	京丹後市	久美浜湾とかぶと山周辺は素晴らしい景観であるが、アクセスの不便さや情報発信が脆弱なため観光客等の交流人口が伸び悩んでいる。また地域住民の意識も希薄で、地域振興の担い手不足である。 アウトドア体験を通じ地域住民と観光客の交流を促進するとともに、2021年に開催されるワールドマスターズの機運醸成も図る。	2,201,620	733,000
16	引原峠銀杏公園、浜詰ハケ山夕桜公園整備活性化事業	楽夕会	京丹後市	地域の観光業は夏冬が繁忙期となっており、安定した雇用ができない。また少子高齢化が加速し、耕作放棄地や未管理の野山が増えている。 放置されている山林を活用し、地域住民が集う場づくり、地域の魅力発信などを行うことで交流人口を増やし人口増を目指す。 【昨年度確定額 474千円】	1,255,897	418,000
17	この町のこせ!この猫さがせ!	こまねこまつり実行委員会	京丹後市	日本遺産に認定された丹後ちりめんと繋がりが深い「こまねこ」を中心に地域活性化を図り、2020年「丹後ちりめん創業300年」に向けた取り組みを行う。 【昨年度確定額 300千円】	1,150,000	300,000
18	みんなのワークショップデザイン&チャレンジ	丹後コミュニケーションデザインチーム	京丹後市	様々な取り組みを行う際、多様な人の参加による対話や合意形成が必要であるがノウハウやスキルを持った人が少ない。 コミュニケーションデザインの手法を根付かせ、地域活性化に活かす。 【昨年度確定額 460千円】	1,068,420	350,000
19	海の京都・京丹後市ストーリー展開事業	「海の京都」京丹後市実践会議	京丹後市	国内観光客は夏・冬の日帰りが多く、閑散期の集客が課題である。一方外国人観光客は増加しているが、対応が追いついていない。 地域の魅力である旬の食材や体験など周遊するクーポンなどの作成、企画列車運行やファミツアー、動画配信など、地域の魅力発掘と閑散期の集客を目指す。また、インバウンド対策としてセミナーで地域での受け入れ体制向上を行う。 【昨年度確定額 1,500千円】	4,750,000	1,500,000
20	人・物・情報の交流拠点の丹後王国「食のみやこ」メインでの丹後地域活性化	丹後王国「食のみやこ」協力会	京丹後市	少子高齢化や景気低迷により活気や活動が消極化している。 人・物・情報の交流拠点である丹後王国「食のみやこ」を中心として、多種多様な団体の参画による事業展開により地域活性化を行う。 【昨年度確定額 1,100千円】	3,010,000	1,000,000
21	小西川周辺を活用した地域づくり事業	峰山地区河川整備等まちづくり促進協議会	京丹後市	市民の憩いの場として古くから親しまれてきた「小西川」に遊歩道が開通し利用者が増加することに伴い、ゴミやベットの糞などマナーの悪さが目立ってきた。 「見守り隊」を結成し日々の美化に努めるほか、花壇やイベントなどを行い地域の名所づくりを目指す。 【昨年度確定額 171千円】	620,000	206,000
22	新町区ふるさと盆踊り再興事業	新町区ふるさと盆踊り実行委員会	京丹後市	地域には転入者が多く、地元住民との交流がない。また、子どもが地元へ帰らず、地域の活力が弱くなってきている。 昨年復活させた盆踊りやしめ縄づくりで新旧住民の一体感の醸成、世代間交流、子ども達の郷土愛を育み、地域が持続的に発展する事業を実施する。 【昨年度確定額 317千円】	907,100	302,000
23	エイドステーション整備と地域の活性化	伊根リビング・ラボ	伊根町	伊根町内にある観光地の中間地点である当地区には特に目立った観光資源はなく通過点となっている。 近年増加しているサイクリストが丹後半島を周遊する際の受け入れ施設を整備し、エイドステーションとして休憩だけでなく、物販やイベント開催を行い、都市部と地域の交流を図り地域活性化を目指す。	3,145,986	1,000,000
24	観光客滞留時間延長に係る受け入れ環境整備事業	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社伊根地域本部	伊根町	町内で観光客流入による経済効果に格差があり、地域が持つ魅力が伝わっていない。また近年増加している自転車愛好家を受け入れる体制が整っていない。 エイドステーションや新たな魅力の造成(ボルダリング・アウトドア体験等)を行い、観光客の滞留時間延長を目指す。また他地域連携し町内の格差是正による観光消費拡大を目指す。	3,000,000	1,000,000

平成30年度 地域力再生プロジェクト支援事業交付金決定状況一覧(第1回分)

番号	事業名	団体名	事業実施地域	事業概要	事業費 (単位:円)	交付決定額 (単位:円)
25	岩屋活性化事業	雲岩創成塾	与謝野町	地域のコミュニティの場である雲岩公園は近年の高齢化や若者の流出などを背景に荒廃が進みつつあり、地域行事の参加も減少している。 雲岩公園や地域行事に参加できる機会を創出し、新たなコミュニティ形成や地域活性化を行い、次世代へと継承する契機とする。 【昨年度確定額 390千円】	2,609,435	836,000
26	森の恵みをみんなでいただく!	よさの三四の森の会	与謝野町	自然を身近に感じたり、大切に感じる感覚が薄く、山を管理する者が減少し荒廃が進んでいる。 イベントを通じ、地域資源活用や山の手入れなど啓発活動を行う。また、他団体のイベントへ参加しPRや交流を行いさらなる発展を目指す。 【昨年度確定額 777千円】	2,827,060	797,000
27	都市部における丹後産品サテライトショップ活用による新販路開拓事業	公益財団法人丹後地域地場産業振興センター	広域	京都市堀川商店街の「ホッと丹後」が今年2月に閉店した。 ホッと丹後では地域の農産物や地場産品を販売したり、ツアーを行うなど都市部と地域をつないでおり、双方から継続の強い要望がある。 京都市内で丹後物産を販売している業者と協力し継続した取り組みを行うとともに、新たな関係機関との連携を図る。	2,000,000	666,000
28	丹後の人と自然のより良い共生をめざして	人と自然の共生ネット	広域	丹後地域に自然博物館等がなく、府民が自然環境を知る機会が少ない。また、地域にも調査や保全する団体も少なく、ネットワークが形成できていない。 セミナーや大学・高校生を対象とした環境調査を行い、啓発活動やネットワークづくりを推進する。 【昨年度確定額 57千円】	450,000	150,000
29	ちりめん街道×酒蔵×ひと×もの	この丹後のかたすみで	与謝野町	ちりめん街道には飲食や休憩スペースがなく、ガイド等の他に経済効果がなく、人や経済の流入が乏しい。また住民に活用しようという意識が低い。 空いた酒蔵を利用し、定期的に活用することで、ひと・もの・経済の流入を増やし地域内外の交流を行い、街道への愛着醸造や活用の意識を高める。 【昨年度確定額 105千円】	622,794	180,000
30	丹後プレミアム猫缶賑わいづくりプロジェクト	丹後プレミアム猫缶	京丹後市	丹後ちりめんに縁がある「猫」を活用し、丹後産の魚を使った缶詰による地域特産品を作成することにより、地域に埋もれた観光資源の発掘や商業を活性化させる。	700,720	110,000
合計					46,451,806	14,756,000